

学校教育目標

- 〈徳〉 やさしく ～夢を持ち続ける子の育成
- 〈知〉 ただしく ～自ら進んで学ぶ子の育成
- 〈体〉 たくましく ～最後までやりとげる子の育成

星の丘フェスティバルで見えたもの

校長 高橋 秀 壽

10月1日（金）に星の丘フェスティバルを実施しました。合間に数回換気を行い、バウムハウスの職員とサポートチームの観覧のみ、残念ながら保護者の方にはご遠慮いただきました。総練習で手直しが入った後の本番ですが、どうだったでしょうか。合同での実施は2年ぶりとなります。2年間とはいえ、職員は小学校で3人、中学校で5人、子どもの半数が入れ替わるといった中の行事となりました。見通しがもてないことへの不安感や人前での表現活動にひどい緊張感と抵抗感をもつ子どもたちの取組でした。特に今年はその傾向が強いと感じます。

- ①オープニングの児童生徒会（6人）シナリオ通り、とりわけ小4の男児はしっかり聞き取れる言葉でした。
- ②小3器楽（3人）楽しい演奏でした。オープニングの役割を果たし、この後の演奏を良いものにする雰囲気を作ってくれました。
- ③小4器楽（3人）ハンドベルの音がきれいでした。ソーラン節は楽しかったです。
- ④小5器楽（5人）ルパン三世のテーマでした。沢山練習したことが分かる演奏でした。
- ⑤小6器楽（5人）音作りを意識して歌っていました。楽器をしっかり演奏していました。
- ⑥総合的な学習の時間の発表

中1（7人）職業調べ：ゲーム関係という新しい分野の仕事があることが分かりました。

中2（7人）校外学習：伊達高等養護学校、伊達開来高校、ウポポイ、北黄金貝塚についてよくまとめられていました。

中3（2人）修学旅行自主研修：下の学年へと引き継ぐ内容でした。

小学生がどの発表に対しても真剣な眼差しを送っていたことに驚きました。

- ⑦小学校創作劇（16人）一人一人が自分の役に成りきり演じ切っていました。本校児童の普段の様子から、不適応を起こすのではないかと心配でした。全員で完遂したことは立派です。
- ⑧中学校器楽演奏（16人）音楽教師が2人いるので、良質なものになりました。
- ⑨エンディングの児童生徒会（6人）個々に印象に残った演目を語りました。

~~~~~

以上のことは当たり前のように思えるかもしれませんが、自閉症、愛着障害や解離を有する子どもたちがステージに立ち、人前で何かを行うことは大変高いハードルなのです。職員は個別の指導を意識し、クラスや学年の発表レベルにするために苦心しましたが、子どもたちの日々の成長を楽しんでいました。ところが、何度も練習を繰り返して上手くなったと褒めたとしても、当日欠席することはよくあります。幼少期から心に隙間ができてしまい、埋める機会なく年だけが過ぎていくことは、人格を形成する上で大変な問題なのだと感じます。

~~~~~

例年ならば、子どもたちは、フェスティバルの取組の練習や当日の発表を反芻し、達成感や自己肯定感を感じ、落ち着いた生活になっていきます。



今年はどうでしょうか。翌週の児童生徒の様子を見てみると、ほとんどの子どもたちは落ち着き感を見せてくれています。経験を心や体の成長に結びつけることが難しい子どもたちですが、フェスティバルの取組を通じて育った一人一人の思いを成長に変えるために、今後の個別の指導と支援に生かしたいと考えます。そのことが人としての成長になると信じています。

星の丘フェスティバル

11月行事予定

10月1日（金）に、「第16回星の丘フェスティバル」が行われました。新型コロナウイルス感染症対策のため、参観者は関係者のみで実施しました。小学校では器楽演奏・表現として「聖者の行進」「ソーラン節」「ルパン三世のテーマ」「マルセリーノの歌」などを発表しました。また、小学生全員で演劇にも挑戦し、せりふに動きを付け、それぞれの役になりきって演じました。中学校では、総合的な学習の時間で調べた職業について、パソコンで分かりやすくまとめ、しっかりと発表しました。そして全生徒による器楽では、「Dynamite」「夜にかける」を演奏し、アンコールのリクエストが飛び出すほどすばらしい演奏でした。

参観者がいる中で、自分の力をしっかりと発揮できた子どもたちに、確かな成長が感じられました。

参観いただいた皆様、ありがとうございました。



ふおれすと鉱山

10月15日（金）、ふおれすと鉱山での体験学習を実施しました。生徒は、マウンテンバイク体験と鉱石探し体験を選択、途中で通り雨に当たることもありましたが、最後まで体験することができました。

昼食は、各学年で用意した焼き肉を協力して、おいしく食べることができました。準備、火起こし片付けと自分の役割を意識して、活動することを通してクラスの団結力を高めることができました。



果物狩り(タカシナ観光果樹園)

10月5日（火）、小学校では、壮瞥町のタカシナ観光果樹園へ果物狩りに行ってきました。果樹園では、リンゴ・プラム・ぶどうがたくさん実っており、それぞれの採取の仕方が違うため、実演してもらいながら取り方を教えてもらいました。取った果物はその場で食べることができ、みんなでお腹一杯になるまで、美味しくいただきました。



- 1日（月）職業体験（中） 救急講習会
中部会
- 2日（火）職業体験（中） 小部会
- 3日（水）文化の日
- 4日（木）職業見学（中）
中学校体験授業（小）
- 5日（金）藍染体験（小） 漢字検定（中）
児童生徒会 校務部会 定時退勤日
- 8日（月）実務者会議 小・中部会
- 9日（火）授業交流週間 ～19日
- 10日（水）中学校体験授業（小）
- 11日（木）学カテスト（中）
月行事調整委員会
- 12日（金）児童生徒会
- 15日（月）職員会議
- 16日（火）栄養教諭食育指導（小）
いのちの学習（中） 伊達市教護会
教育課程研修会 養護教諭会研修
- 17日（水）小・中部会 施設連絡協議会
定例校長会議
- 19日（金）伊達市教育研究会研究発表会
定時退勤日
- 22日（月）研修日
- 23日（火）勤労感謝の日
- 24日（水）小・中部会 定例教頭会議
- 26日（金）ASOBIBA 児童生徒会
- 29日（月）小・中部会 陶芸教室（中）
- 30日（火）伊達市特別支援教育推進委員会